

夏合宿 中ア：木曾駒・空木岳縦走

- ◆日程 2020年8月11日(火)～8月13日(木)
 ◆メンバー L：ST、SD、KK、OT、KH、SK、KN、YN

8月11日(火) 1日目 天候：曇り時々晴

11日の朝、八王子駅のあずさ乗り換えホームでメンバー達の顔を見かけて一安心した。駒ヶ根駅から約30分のバスで標高1661mしらび平駅に到着。標高差日本一のロープウェイも待たずに乗車、8分で千畳敷に到着。あいにく曇り、ガスも湧いてきて、壮大な風景をあまりに目にすることが出来ずとても残念でした。すぐ横の信州駒ヶ岳神社に安全登山を祈願し登山開始。14:20乗越浄土を通過、14:36宝剣山荘に到着しそのままに通過、14:50中岳に登頂。15:04駒ヶ岳頂上山荘に到着。入口付近で待ちあぐまされたSK達と合流。



今回は、コロナ感染防止対策：密を避けた行動を取るべきとSTリーダーの考えで、個人テント持参の山行となった。先頭部隊のお陰様でテント場所を確保され、スムーズに設営でき、ありがとうございました。休憩を兼ね、一時間後再び登り、16:13標高2,956mの木曾駒ヶ岳山頂に到着。ガスで景色が楽しめないことは残念。(記：KK)

- CT：しらび平駅 12:25 - 千畳敷駅 13:15 - 乗越浄土 14:20 - 宝剣山荘 14:36
 - 中岳 14:50 - 駒ヶ岳頂上山荘(テント設営) 15:04
 - 木曾駒ヶ岳山頂 16:13 - テント場 16:42

8月12日(水) 2日目(その1) 天候：曇り時々晴または雨

朝4時起床、1人テントの中で食事(昨晚のアルファ米半分の雑炊)を済ませる。寒いのでダウン上下を着てテントを撤収、5時45分に集合場所へ向かう。今日は長丁場で宝剣岳一檜尾岳一熊沢岳一東沢岳一宿泊地の木曾殿山荘までCT7時間10分の予定だがどのくらいかかるのか。とにかく曇りの中をスタートする。途中で晴れると蒸し暑くレインウェアを着たり脱いだりが忙しい。また雨が降り出すと視界が効かず方向もよく分からなくなる。雨や曇りの時にランドマークを見つけるのが難しい。あらかじめ地図をよく見ておくべきであった。

足元は宝剣岳を過ぎても岩場が多くなかなか進まない。あいにく展望は望めなかったのが残念だが、岩稜帯の中ではオコジョに会えて嬉しい。また高山植物が多く咲き中央アルプス固有種ヒメコマクサも多く咲いていた。イワツメクサと一緒にタカネツメクサも群生していた。花の名前をSKさんに聞いて覚えたり、地図の見方やテントを張る時の細かな注意点などなど、会山行ではいろいろと学ぶことが多いと感じた。

山行中に撮った花の写真をネットに上げてみましたが、帰って調べても判別が難しくご指摘頂いたら有難いです。この日、スマホの記録では行動時間7時間47分、休憩時間3時間32分、距離8.9kmとなっていました。(記：KH)



8月12日(水) 2日目(その2) 天候：曇り時々晴または雨

木曾駒頂上山荘テン場にてほぼワンルーム戸建て状態でテント泊。ほぼ1人～2人用テントばかりなのと、トップシーズンながら8割～くらいの混雑具合で感染症の影響が強く感じられる。テン場は到着時からほぼすぼりとガスの中で真っ白、夜半からは風雨に見舞われ、あまり眠れずに1夜を過ごした。余談だが、ガスが濃くて夜中にトイレに行っても遭難しそうになって往生してしまった。個人的には到着時から体調があまりよくなく、朝から食欲がない。2日目は長丁場なので、無理矢理朝食を流し込んでテントを片付け、6時定刻に山荘テン場を後にする。

最初は宝剣岳へ。予想通りの岩場と高度感、重いザックに振られないよう十分用心しながらヘルメットを装着して進んでいく。1時間ほどで到着、残念ながらガスによって眺望はない。小休止後に出発、岩場を進んでいく。中央アルプスは「急峻」な山が多くて厳しい・・・印象。檜尾岳に続く稜線はアップダウンを繰り返し、延々と続いていく。この辺りにくると、ガスがとれてきて、カールを抱いた中央アルプスの懐が見えてきた。岩のグレーと、ハイマツのグリーン、夏空のブルーと入道雲のホワイト、“The 夏山”である。夏山好きの自分も本来であれば「上がる」ところであるが、残念ながら体調があがってこない。檜尾岳の急登を登る際は、折り悪く下界のような暑さになり、ハイマツが風を遮って若干意識朦朧ぎみ。ようやく登り切り、小休止。

ここで12時、木曾殿山荘到着は17時だが、その間は正直あまり覚えていない。高山病、熱中症、体力不足・・・原因はわからないが、2月～コロナ過になってから登山をしていなかったのが一番の原因かもしれない。走ったり歩いたり、運動はそれなりにしていたが、山の筋肉は山でつけなきゃいけないものだなと、改めて感じた。

一から鍛えなおし、長く登山ができるよう努力したいと思う。同行の皆様、ありがとうございました。(記：KN)

CT：しらび平駅 12:25 - 千畳敷駅 13:15 - 乗越浄土 14:20 - 宝剣山荘 14:36 -
中岳 14:50 - 駒ヶ岳頂上山荘 (テント設営) 15:04 - 木曾駒ヶ岳山頂
16:13 - テント場 16:42

8月13日(木) 3日目(その2) 天候：曇り時々晴

三日目にしてようやく未明から晴れ、空木岳の威容も一望でき、周囲も見渡せるようになった。好天を期待するが、予報は午後から雨。早出で登頂まで持って欲しい。期待半分で小屋を後にした。

合宿最後となる空木岳の尾根に取りつくくと直ぐに急登が待っている。ほどなくガスが立ち込め、もはや山頂も途切れ途切れにしか見えない。やはり今日も眺望は望めないか……。きつい登りも皆とガヤガヤ話しながら気を紛らわせる。岩場だらけになったところで第一ピーク。だがラスボス(本当のピーク)はまだ先だ。岩の稜線には所々ザレた真砂土の場所も



あり、変化に富む。ガスだらけで高度感が無いのが残念。ようやく山頂にたどり着くと、うっすら青空が覗く程度、周囲は依然よく見えない。

下山開始後、次第にガスの切れ目が目立ち、周囲が見えることが多くなった。長い尾根だが、ハイマツの中に白い真砂土と花崗岩の巨石が点在する実に美しい稜線だ。こんな稜線を見ながらならたとえ長い登りでもモチベーションが湧くことだろう。実際、颯爽と登っていく何人もの人とすれ違った。下山までの間にその人たちの殆どに追い抜かれた。荷物が軽いとは言え、何というスピードだ!

樹林帯に入った。ここからも長い。所々鎖場もあり、飽きないコースだ。予報通り昼頃から雨が降り出した。雨具の着脱を何回も繰り返したが、下界が近いとさすがに暑い。しかも、前日から足指が湿りがちだったところへ長い下りなので靴づれが傷みだした。絆創膏はもはや気休めだ。林道終点でSDさんがタクシーを呼ぼうとしたらなんと通行止めのため、往路のバスで経由した菅の台バスセンターまで降りなければならぬことに。それでも皆で歩き切り、近くの温泉で旅の疲れを流した。駒ヶ根駅に着くと、木曾駒の山頂でほんの一瞬しか眺めることがかなわなかった甲斐駒がドーンと姿を現していた。山の天気は気まぐれだ。

これから妙高・火打に向かうという恐るべき体力のSKさんとYNさんに見送られ、電車に乗った。上諏訪からの特急は往路と同様に信じられないくらい空いていた。

今度は好天の中を歩きたい。できれば、ロープウェイでなく、下から尾根を辿りながら。

(記：OT)

CT：木曾殿山荘 6：00-空木岳 7：50/8：05-駒石 8：45/9：05-マセナギ 11：50
-林道終点 13：50-菅の台バスセンター 15：20

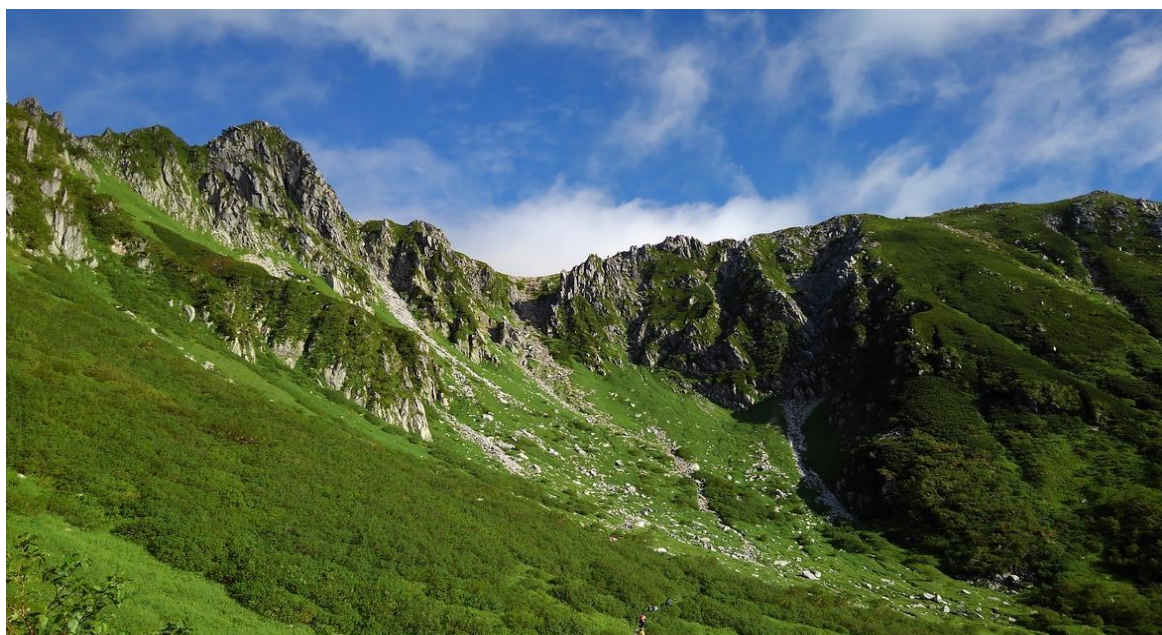
8月11日(火) 1日目の先発 天候：時のち曇り時々霧雨

参加：L、YN、SK

10日13時9分高尾駅発松本行き普通列車にて上諏訪乗り換え飯田線の駒ヶ根駅まで青春18切符を使い行く。駒ヶ根駅は大きくきれいで有るが無人駅であった。時間があるので駒ヶ根駅周辺散策する、人はほとんど歩いていない。駒ヶ根名物「ソースカツ丼」食べようか珍しくネパール料理店有るのでそちらに入ろうか迷ったが混雑しているので止めて駅前スーパーでつまみとビール買って駅で食べ、ステーションビバークする。宝剣のシルエットと夕焼け空がきれいだった。

11日6時30分発のバスに乗りしらび平まで向かう、途中の菅の台で満席になる。ロープウェイは待たずにギリギリ乗れ千畳敷駅に到着、良い天気で木曾駒、宝剣岳、千畳敷カールのお花畑、振り返っては南アルプスがよく見える。登山口の駒ヶ岳神社にお参りし登山開始。お花畑のカールをゆっくり登って行く。登山客は少ないがたまに行列になるくらいはいる。乗越浄土で休憩、休憩中にガスで真っ白になりその後道を間違えて伊那前岳まで行ってしまい戻る。宝剣山荘横を通り、中岳で休憩、少し下り駒ヶ岳頂上山荘テント場に到着。テントを張りしばし休憩。濃霧が切れず小雨も降ってくる。徐々にテント数も増えてきたので皆のテント場確保をする。時間もあるので木曾駒ヶ岳に登る事にした。頂上には立派な鳥居とお社が有りお参りする、景色は残念ガスで真っ白。テント場に戻るとSTリーダーからメールありもうすぐ到着するとのこと、携帯に電話が入りほどなく本隊皆さんと無事に合流、それぞれソロテント張り、本隊の皆は木曾駒ヶ岳へ向かう、時々晴れ間は覗くがガスは切れず。再度合流後ビールを買い込み、小雨が降っていたので皆それぞれのテントでそれぞれ用意した夕食を食べる。何とも味気ない寂しい夕食であった。これで終わっては寂しいので夕食後はテントの外でこそと皆でテント談義など軽く盛り上がる。明日以降の好天を祈り就寝する。(記：SK)

CT：駒ヶ根駅 6:30 - しらび平駅 7:00 - 千畳敷駅 7:30 - 乗越浄土 9:20 - 宝剣山荘 9:50 - 中岳 10:20 - 駒ヶ岳頂上山荘 (テント設営) 11:20 - 木曾駒ヶ岳山頂 14:30 - テント場 15:00



↑千畳敷カールと宝剣岳